

第〇学年 〇〇科学習指導案

日時 平成 年 月 日 () 第 校時
 場所(学校名も記入) 場 所
 対象(学年・学級など) 対 象
 指導者 の順に書くこと 指導者

1 単元名

2 単元目標

学習指導要領をもとに**評価規準**を書きます。可能な限り行動目標化します。
 「〇〇〇〇することができる」など。

3 単元について

①教材について … 単元目標のどの部分を実現するための教材かを明確にします。あるいは、教材を子どもたちに紹介する方法などを簡潔にまとめます。
 ②児童・生徒について … この単元を学ぶまでの子どもたちの学力状態を中心にまとめます。既習内容や定着度を事前に調査した結果を記すと指導案として完成度が高まります。
 ③指導の重点について … ①と②を踏まえて、本単元の指導で重要ポイントとして設定することを具体的にまとめます。(子どもにどのような学力を育てて、子どもをどう変えようとしているのか)

4 指導計画(全時間)

単元全体の指導内容を時系列に整理して簡潔にまとめます。時間単位に、「回数」・「学習テーマ」・「行動目標化した教育目標」を簡条書きするとわかりやすい。

5 本時の指導過程

(1) 本時の目標

本時で獲得させたい教育目標を**行動目標化**して具体的に記す。求める学力内容を完全な文体で表記することが大切。この目標は「**評価基準**」にできるように具体化すること。
 ※ **本時の目標**は、「展開」の終末部分の「評価・評価の方法」欄に再掲すること。

(2) 準備物

教師が利用する物と、子どもが利用するための物が異なるときは、書き分けるとよい。

(3) 展開

	学 習 活 動	教師の支援・教材 (指導上の留意点)	評価・評価の方法
導 入	①想定する子どもたちの「動き」を具体的に書く。 ②子どもの立場に立って書くこと。	①教材と教材の扱い方について、具体的にかつ簡潔にまとめる。 ②説明や指示内容について可能な限り具体的に記す(シナリオ)。 ③発問は具体的に記す。 ④学習のポイントになるキーワードを記す。	① 行動目標化した評価基準 を書く(～することができる)。発問に対して期待する子どもの発表・行動を具体的に記すことが望ましい。 ② 評価方法 も記す。
展 開			
ま ど め	「主発問」や「主な学習活動」を独立して書いてもよい。 ※ 本時の展開で、教育目標に迫るために特に重要な発問や活動を実際の文言を記すことが大切。		③「 本時の目標 」を書く(～することができる)。 ④ 評価方法 も記す。

「B基準に達していない場合の手立て」を示す

オープンエンドで終わることもある

別表で「本時の観点別到達度目標と評価手法」をまとめるとよりよい。

観 点	A基準の状況	B基準の状況	B基準に達しない場合の手立て

指導案に、板書計画、座席表、ワークシート、評価問題(発問)を添付する。
 ※ 評価問題は、個々の児童の定着度を測るものであるが、自分自身の授業を改善していくものでもある。